

地区協わかば

発行者：若葉学校地区協議会
会長 藤丸 卓男

連絡先：調布市協働推進課
042(481)7036

地区協mail：
wakabatikukyo2009@gmail.com

若葉学校地区協議会会長の藤丸です。平素は若葉学校地区協議会の活動に対してご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
早いもので今年度（令和4年4月～令和5年3月）もあと少しで終わりとなります。



今年度はコロナはどうなるだろうか、活動はできるだろうか思っていました、感染者数は多いものの何故か行動制限の緩和や制限のない年でした（withコロナ）。当協議会としては、感染者数が多いこともあり、状況をみながら活動しようと思ひ、上期は総会を3年振りに開催しましたが大きな活動は控えておりました。ただ、防犯パトロールや美化運動のゴミ拾い、防災の一部活動は感染対策をしながら行いました。

しかし、世の中の活動は感染対策をしながらのイベントなどが大々的に行われていたこともあり、当協議会も慎重に活動を再開しました。

10月には地区協として初めての高齢者、子供を対象にした「若葉縁日」を公共の広場をお借りして開催し、予想以上の人出になりびっくりしました。

11月には防災訓練を市や消防署の協力のもとに第四中学校で行いました。また、今まで恒例であった「若葉の杜の音楽会」を7月から11月に変更して、3年振りに開催しました。大勢の地域の皆様のご来場があり、楽しんでもらえたと思っております。

2月、3月には防災講演会、特別防犯パトロールなども行います。

今後も感染対策をしながらの活動を来年度も続けていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

最後に、地域の皆様、若葉学校地区協議会及び活動にぜひともご参加下さい。お待ちしております。

(会長 藤丸 卓男)



令和4年4月に若葉小学校へ着任しました副校長の小林と申します。朝から校門に響き渡る子供たちの「おはようございます」の挨拶に、毎日清々しい気分を味わっています。

本校は、休み時間の校庭借用など第四中学校との連携が深く、小・中学校で一体となった教育活動を行うことができるとともに、子供たちを力強く支えてくださる地域の皆様がおられる恵まれた環境にあります。感謝しながら、地域・学校一体となって子供たちを育てていきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

(若葉小学校副校長・小林 義史)

令和4年12月16日付で中野区立第七中学校から参りました千葉一晶（いっせい）と申します。

一般的に、出会いの季節といえば春・・・春といえば桜・・・春になると日本全国に咲き乱れる桜ですが、元はソメイヨシノの一本の原木から接ぎ木されて今日に至っていると聞きました。私も、中野第七中学校からここ調布市立第四中学校に接ぎ木された一本の枝。皆さまと協力し合って、ぜひ第四中学校、そしてこの地域をよりよいものにして参りたいと思ひます。

何卒よろしくお願ひいたします。

(第四中学校副校長・千葉 一晶)



地域防災訓練を実施して

令和4年度「地域防災訓練」はコロナ感染対策をとり、11月13日（日）第四中学校を会場に2年振りに集合訓練により実施しました。

心配された天気も持ち、8時30分から感染症対策を踏まえた避難所設営を行い、予定どおり9時から避難所の受付を開始しました。

地震災害を想定した受付訓練、マンホールトイレの組立て、消火訓練、応急救護（子供の応急救護）、煙体験をグラウンドと体育館で行ない、安否確認訓練、情報連絡確認を若葉町自治会等（8自治会）と連携して実施できました。また、ユニディに防災用品の展示・販売を行って頂きました。

訓練には市役所（初動要員含む）、消防署、神代高校、地域の皆さんの幅広い年代が約200名参加して頂き、予定の11時に終了しました。家族連れも多数参加して頂き、和やかな雰囲気での訓練が実施でき、大変良かったです。

今回、初めての地域住民による全市共通手順による避難所開設、受付を行うことで、

- ①市防災担当との連携不足
- ②受付訓練における個人情報保護
- ③要介護エリアの検討不足

等の課題を抽出でき、良い経験ができたと思います。



(安否確認)

今後、継続して楽しく訓練を行ない、多くの地域のメンバーが避難所の設営、運営に関われるようにしていきたい。

ご支援、ご協力ありがとうございました。

(防災推進委員長 渡辺 要三)



(消火訓練)



(応急救護)



(煙体験)

防災講演会「知っておこう若葉地域の地形と自然災害、防災の心構え」

東部公民館との共同開催の東京都立大学山崎晴雄名誉教授による講演会が2月4日（土）東部公民館でコロナ禍30名限定により開催された。

自然災害は「地盤・地形・地質条件」といった素因に、発生の避けられない「地震・豪雨・強風」といった誘因が重なって起きるそうだ。

したがって、災害を減らすには近辺にある素因を知っておくことが重要であり、命を守るためには防災訓練等による疑似体験や報道を含め他人の経験・知識から自らの知識を増やし、とっさの判断・行動を取れるようにしておくことが大切だそうだ。

若葉町の台上は一万年ぐらい前に形成された立川段丘なので地震がきても揺れは小さいが、小中学校に代表される台下は入間川の元河原で揺れはだいぶ大きいそうだ。

そして国分寺崖線の先端と呼ばれる法面では事が起きた時には崩れることは大いにありうる。

災害で命を失う最大の理由は火事ではあるが、火事を含め、常日頃、何処を逃げ道とするか各自・各家庭で考えて、確認して命を失わないようにすることが大切である。

(防災推進委員 川寄 健次)



若葉縁日

10月22日、陵山公園と都営入間町二丁目アパート集会所において「若葉縁日」を開催しました。「朝市をやりたい」という藤丸会長の提案をもとに委員会で検討し、「多世代の人々が楽しみ交流することで顔が見える関係が生まれ、より安全で安心な住みやすい地域となることを目指した縁日」を開催することにし、若葉学校地区協議会の全体事業とすることに決定しました。

当日は、コロナ感染拡大防止策の1つとして用意したスタンプラリー券200枚が短時間で完売してしまった後も、来場者が増え続けるという予想外の事がおりましたが、急遽やりくりをして品数を揃えるなどして何とか対処することができました。これほど望まれた事業であるなら、継続していくべきであると強く感じました。



今回のコンセプトは「コロナ禍を頑張っている皆へのささやかなご褒美」でしたが、無事に終わることができましたのは、当日時間をやり繰りしてお手伝いに来て下さった方々と、複数の自治会様や個人の方からのお心配りのお陰と有り難く思っております。

出店内容

射的(防犯・美化委員会)
すくい(広報・地域交流委員会)
野菜、焼き芋(農家さん)
音の玩具(防災委員会)
飲み物(子ども会)
輪投げ・ほか(ふれあいクラブ、調布市社会福祉協議会)
健康チェック(地域包括支援センター仙川)



(広報・地域交流推進委員長 山崎 治子)

若葉の杜の音楽会

11月26日に「第9回若葉の杜の音楽会」を若葉小学校の体育館をお借りして開催しました。コロナ前は7月に開催していましたが、感染状況により、前年度感染者数が減少していた11月下旬に開催することに決めました。ところが、開催予定日2週間前に「感染者数が増大傾向にある」という報道がなされ大変迷いましたが、学校のご理解もあり2日前に開催を決定しました。

実に3年ぶりの開催であり、その間、コロナ禍は学校のクラブ活動にも影響を及ぼし、部員は3分の1、4分の1の人数に減っていました。そのような中、変わらずに練習を重ねてきた皆さんの発表の場を確保でき、とても嬉しく思いました。また、母、娘、孫の齊藤家三世代によるピアノ演奏と独唱や、若さあふれるMECPのチェロとピアノの演奏があり、感染防止に気を配り十分な間隔を取って並べた座席は満席となり、会場は終始落ち着いた和やかな雰囲気には満ちていました。

(広報・地域交流推進委員長 山崎 治子)



防災マップの完成

令和2年から検討してきた若葉学校地区の防災マップが若葉自治会の沖浦氏の地図作成での強力な支援を得て、第1版が完成しました。避難所、街頭消火器、給水地点、AED等、の防災設備が掲載されていますので、使ってみてください。東部公民館、入間町地域福祉センター、若葉図書館に置く予定です。

(防災推進委員長 渡辺 要三)

凡例 Legend

- 避難所 Evacuation Shelter
- 街頭消火器 (調布市) Extinguisher
- AED
- 給水地点 (生活用水) Emergency Water Supply Point
- 消火栓 Fire Hydrant
- 防火水槽 Fire Cistern
- 医療機関 Hospital
- 掲示板 Bulletin Board
- 公共電話 Public Phones
- スーパー・マーケット Market Store
- コンビニエンス・ストア Convenience Store
- 防災備蓄倉庫 Emergency Supplies Container
- 鉄道 Keio Line
- 主要道路 Main Road
- 境界線 District Boundaries
- 河川等水部 River, etc.
- 公園 Park Square

若葉学校地区協議会
防災マップ
Desaster Prevention Map

若葉町 1
若葉町 2
若葉町 3
入間町 1
入間町 2
入間町 3
東つつじヶ丘 2
東つつじヶ丘 3
西つつじヶ丘 4

広域避難場所 Safety Evacuation Areas

第四中・若葉小学校周辺

NTT中央研修センター

避難所 Evacuation Shelters

若葉小学校 (震災時のみ)
第四中学校 (震災時のみ)
神代高等学校 (令和5年度から)
桐朋学園女子部門 (風水害時)

二次避難所 Secondary Evacuation Shelters

入間地域福祉センター

緊急医療救護所

医療法人社団研祥会
東京さつきホスピタル
東つつじヶ丘2-27-1

情報収集 Collect Information

調布FM 83.8MHz

ケーブルテレビ J:COM(地デジ1ch)

調布市LINE公式アカウント
ユーザー名:調布市
ID:chofucity

調布市公式ツイッター @chofu_shi (調布市災害)

調布市 総合防災安全課
042-481-7346~8
042-481-7547

防災フリーダイヤル
防災行政無線で放送した
内容を確認できます
0800-8000-903

見守り力・抑止力アップを目指して

関東など各地で頻発した強盗事件や近隣の町にも出没する不審者など、スケールや内容が異なるものの、想定外の事件が多く見られます。もちろん警察力に委ねるところであることは自明の理ですが、「自分達の町は自分達で守る」の重要性を痛感させられるところです。犯罪防止には、子どもや高齢者などの弱い人々への見守りにはじまる日常的な行動が必須ですが、その他にも多くの条件があります。その一つに、町の美化があります。ポイ捨てごみの収集や道路の清掃など、屋外での行動が、犯罪者にとっては「見る目」の多い場所となることから、避けることとなり、抑止力アップに繋がるとされています。

若葉地区においては、見守り力アップと抑止力アップを目標に、PTA・自治会・地区協などによる防犯パトロールが実施されています。併せてごみ収集も実行しています。しかしながら、人員不足のため、地区全域をカバーするに至っていないのが実情です。

そこで、犯罪抑止と防犯意識の向上を図るため、3月11日に地域の皆さんのお力添えを得た上で、地区全域を網羅する大規模なパトロールを実施致します。

◎年末合同防犯パトロールを実施

昨年の12月20日に調布市総合防災安全課と社会福祉協議会の参加協力を得て、合同防犯パトロールを実施しました。2チームに分かれ、通常より広域のパトロールが出来ました。



(防犯・美化推進委員長 元部 欽司)